



# 神宮前だより

校長 加藤 康弘

## 「活動の振り返りを通して自己調整力を高める ～HACHIアプリの活用～」

秋の澄みわたる青空のもと、御殿場移動教室では四年生の子供たちが広大な森林の中で生き生きと自然と触れ合うことができました。夏には、五、六年生が伸びたように、大きく伸びた四年生の姿が見られました。

初めての宿泊行事ですから、まずは「自分のことは自分ですること」が目標になります。身支度や就寝準備という生活そのものを自分でする体験。また、広大な森林の中をどういうルートで探検していくのかなど、友達と考えを出し合いながら自分たちで問題解決していく体験。そして、普段のチャイムの合図で行動している生活からチャイムの鳴らない生活。すなわち、自分で時間を意識しながら先を見て行動する体験など、短い二日間の宿泊行事でしたが、活動を重ねることに伸び



御殿場から眺める富士山

学習指導要領では、「知識や技能」、「思考力・判断力・表現力等」と並び、「学びに向かう力・人間性等」という学力の育成が示されています。これは、筆記テストなど

ていく子供たちの姿がとても印象的でした。

学習指導要領に、「なすことによつて学ぶことが重要であると示されている宿泊行事では、単なる知識ではなく、体験を通して子供たちが望ましい生き方を体得していくことが求められています。その育成のために必要なことの一つに、「活動の振り返り」が挙げられます。その場限りの体験活動で終わらせてしまうのではなく、子供たちが体験する中で気付いたことなど、自己の活動を振り返ることがとても大切なことです。子供たちが持つ「しおり」にも、目標とともに、「活動の振り返り」の欄が設けられています。

で数値では測れない資質・能力であり、様々な活動の節目や事後に、活動を振り返ることで、次の学習や生活への意欲や活動の改善につなげていく自己調整力の育成が求められています。その育成のためのツールとして、今回、区立学校全校に導入されたHACHIアプリがあります。

既に配布したお知らせにありますとおり、学習面と生活面の二つの「NEXTシート」を活用し、それぞれの活動の振り返りを通して、次の学習や生活に意欲的に向かうことや友達の下さを認め合いながら協働性を高めることをねらいとして活用していきます。

具体的には、「生活NEXTシート」を使い、朝の「心の天気」をスタンプで表現します。帰日もスタンプを選び一日を振り返るほかに、日記を書いて振り返ることや友達の良い点を見つけて先生に伝えることもできます。

「学習NEXTシート」では、授業での振り返りを入力し、できたところやできなかったところをはっきりさせて自己の学びを調整するなどして、次の学習につなげます。

また、「学期や月」という中長期的な目標を入力し、節目となる時期に振り返りをして自己の学習や生活のよさを次につなげていきます。

このように「HACHIアプリ」の活用を日常化し、学習面や生活面での活動の振り返りを可視化することで、自らを律しつつ、他者とともに協調しながらよりよく学習や生活に向かうことのできる自己調整力を高めていくことを目指していきます。

### 11月の目標

#### 【生活指導】

力を合わせて活動しよう

#### 【保健目標】

生活リズムを整えよう

#### 【給食目標】

感謝の気持ちをもって食べよう

